2026年10月1日の電力需給

全国

△ 全国合計需要ピーク
11,470万kW
14時30分、114,697 MW
（10エリア同時刻合計）

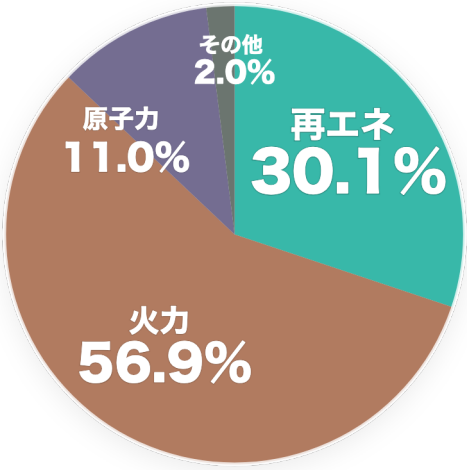
☀ 太陽光ピーク
5,202万kW
11時30分、52,020 MW
（自家消費分除く）

≋ 風力ピーク
245万kW
23時30分、2,447 MW

◇ 再エネ最大需要比
59.3%
12時、需要に対する割合

↔ 最大受電エリア
東京
94.1 GWh

↔ 最大送電エリア
東北
90.6 GWh



概況

再エネ比率トップ

北海道 43.8%

33.8 GWh

出力抑制量

7.3 GWh

最大: 東北 5.1 GWh

揚水・蓄電の充電

41.5 GWh

発電構成比には含めない

日中の特徴

太陽光と夕方需要の時間差

多くのエリアで18-19時台に需要ピーク

- 需要ピークが最も大きかったのは東京で、14:30に3,815万kWでした。
- 再エネ比率は北海道が最も高く、発電電力量ベースで43.8%でした。
- 出力抑制は東北、中国、九州。

項目	値	補足
再エネ発電量比率	**30.1%**	発電電力量ベース
再エネ発電量	**685 GWh**	太陽光・水力・風力・バイオマス・地熱
総発電電力量	**2,272 GWh**	発電構成比の分母
再エネ最大需要比	**59.3%**	12時
出力抑制量	**7.3 GWh**	最大: 東北
揚水・蓄電の充電	**41.5 GWh**	発電構成比には含めない

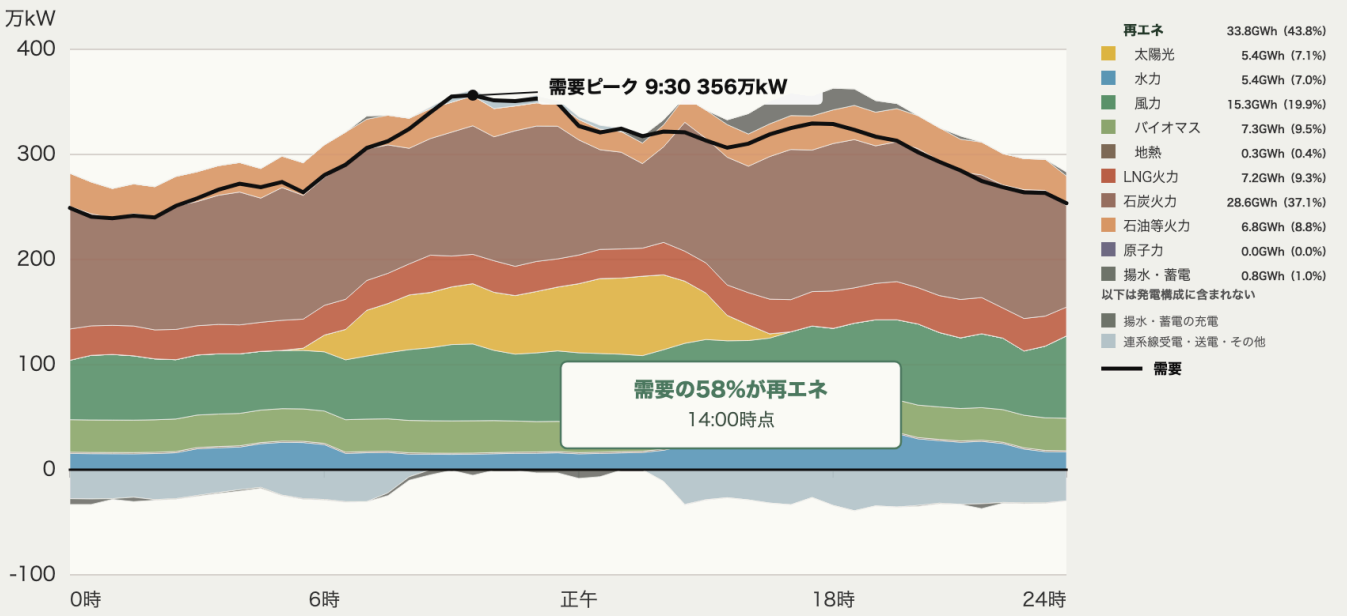
エリア	再エネ比率	再エネ発電量 (GWh)	出力抑制 (GWh)	連系線・その他 (GWh)
北海道	**43.8%**	**33.8**	**0.0**	**送電 4.9**
東北	**37.3%**	**109**	**5.1**	**送電 90.6**
東京	**22.4%**	**145**	**0.0**	**受電 94.1**
中部	**40.8%**	**117**	**0.0**	**受電 80.0**
北陸	**35.9%**	**29.1**	**0.0**	**送電 11.9**
関西	**25.0%**	**82.0**	**0.0**	**受電 35.6**
中国	**26.5%**	**48.4**	**1.9**	**送電 30.4**
四国	**33.0%**	**30.9**	**0.0**	**送電 29.7**
九州	**34.1%**	**86.8**	**0.3**	**送電 19.1**
沖縄	**10.1%**	**3.0**	**0.0**	—

2026年10月1日の供給実績

北海道エリア

再エネ
33.8GWh
（発電電力量ベース43.8%）

北海道エリア 2026年10月1日の供給実績（残余需要方式）



出典: 北海道電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
77.1GWh

需要ピーク
9:30、356万kW

連系線・その他
5.2GWhの送電

揚水・蓄電の充電
0.3GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

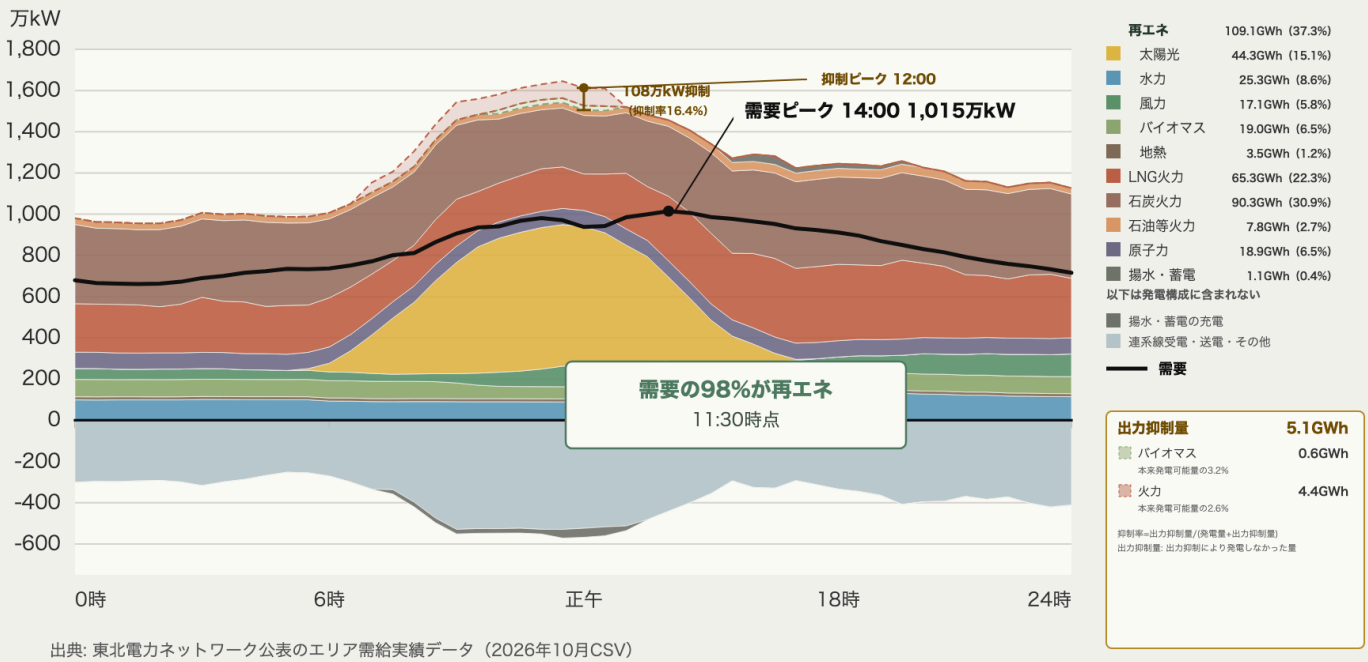
北海道は、太陽光ピーク76万kW、風力ピーク78万kWで、時間別の再エネ最大需要比は58.0%だった。

2026年10月1日の供給実績

東北エリア

再エネ
109.1GWh
（発電電力量ベース37.3%）

東北エリア 2026年10月1日の供給実績（残余需要方式）



出典: 東北電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
292.5GWh

需要ピーク
14:00、1,015万kW

連系線・その他
90.6GWhの送電

揚水・蓄電の充電
1.7GWh

出力抑制
5.1GWh

概況

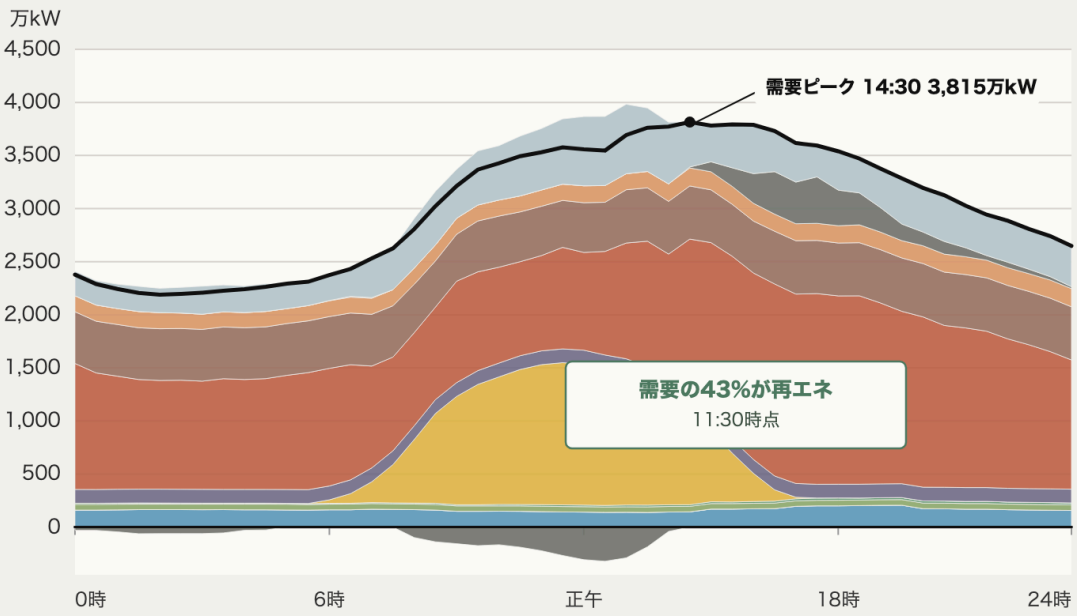
東北は、太陽光ピーク687万kW、風力ピーク112万kWで、時間別の再エネ最大需要比は100.2%だった。

2026年10月1日の供給実績

東京エリア

再エネ
144.8GWh
（発電電力量ベース22.4%）

東京エリア 2026年10月1日の供給実績（残余需要方式）



発電構成比

総発電電力量: 646GWh
(6,457万kWh)

再エネ	**144.8GWh (22.4%)**
太陽光	89.5GWh (13.9%)
水力	39.4GWh (6.1%)
風力	3.4GWh (0.5%)
バイオマス	12.5GWh (1.9%)
地熱	0.0GWh (0.0%)
LNG火力	298.4GWh (46.2%)
石炭火力	117.0GWh (18.1%)
石油等火力	37.6GWh (5.8%)
原子力	31.2GWh (4.8%)
揚水・蓄電	16.7GWh (2.6%)

以下は発電構成に含まれない
揚水・蓄電の充電
連系線受電・送電・その他
需要

出典: 東京電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
645.7GWh

需要ピーク
14:30、3,815万kW

連系線・その他
94.1GWhの受電

揚水・蓄電の充電
15.1GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

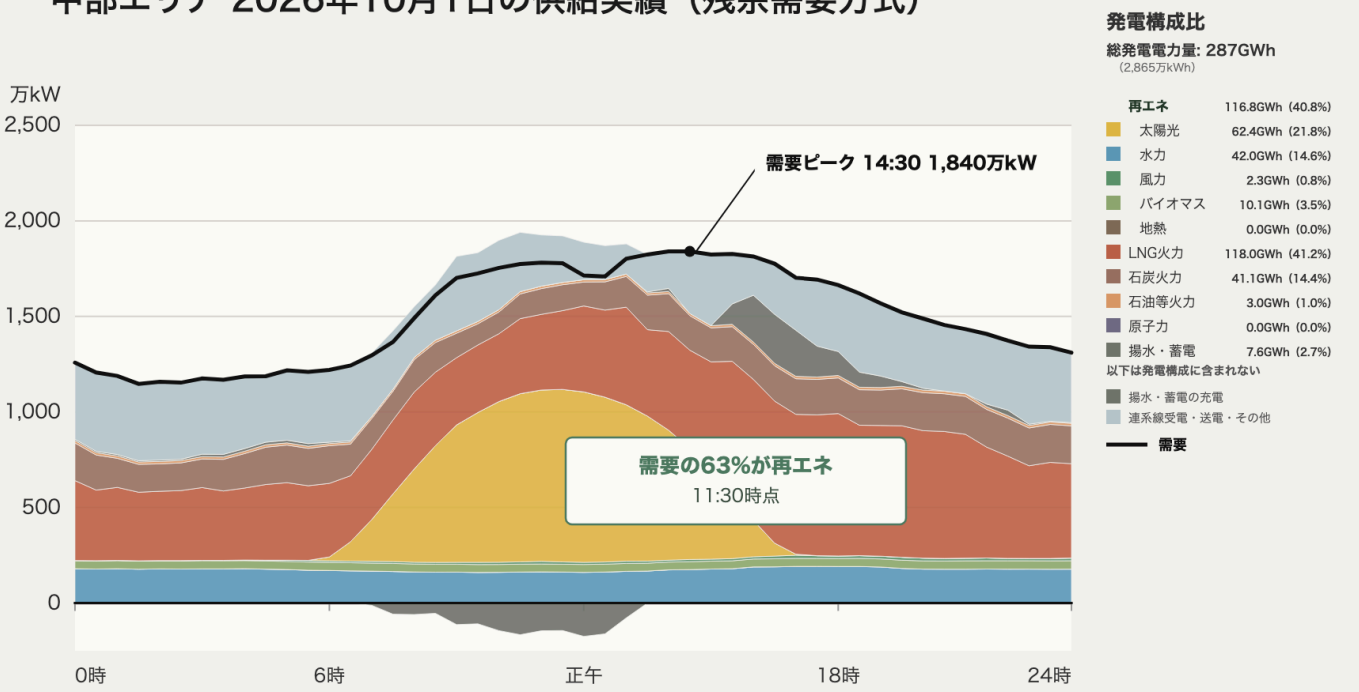
東京は、太陽光ピーク1,340万kW、風力ピーク22万kWで、時間別の再エネ最大需要比は43.3%だった。

2026年10月1日の供給実績

中部エリア

再エネ
116.8GWh
（発電電力量ベース40.8%）

中部エリア 2026年10月1日の供給実績（残余需要方式）



出典: 中部電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
286.5GWh

需要ピーク
14:30、1,840万kW

連系線・その他
80.0GWhの受電

揚水・蓄電の充電
7.1GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

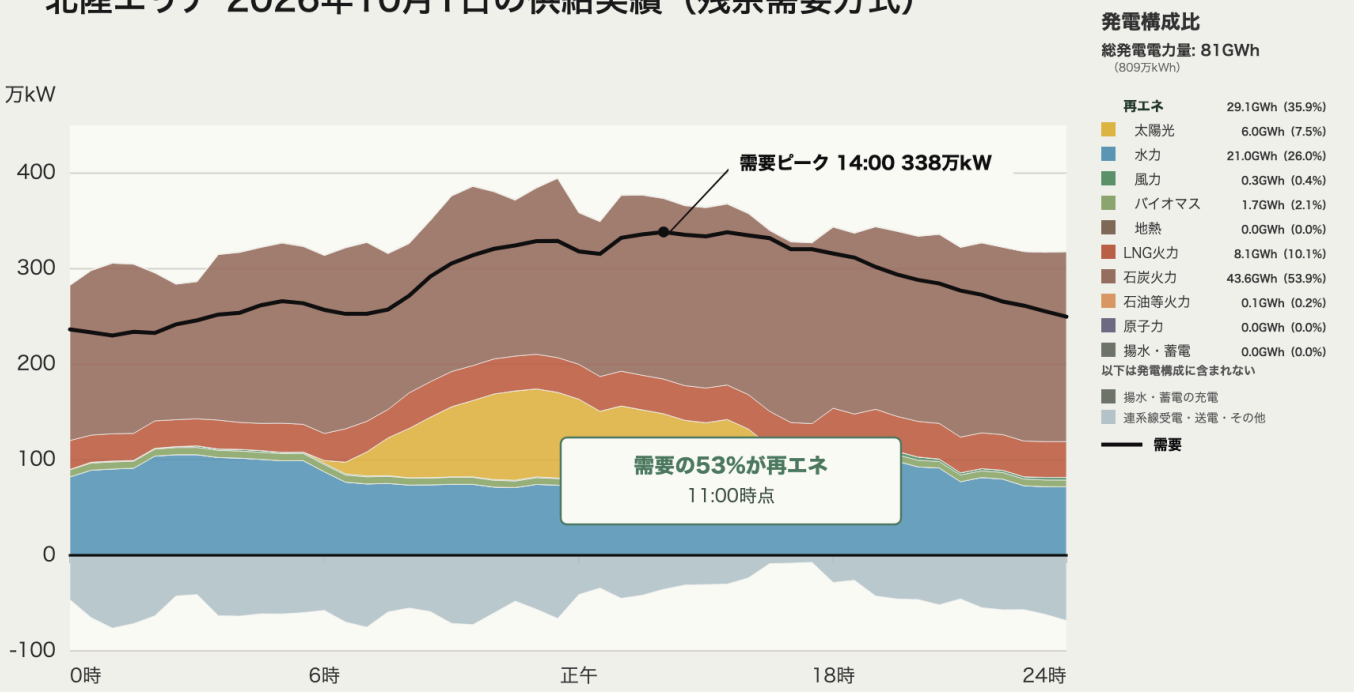
中部は、太陽光ピーク903万kW、風力ピーク16万kWで、時間別の再エネ最大需要比は64.5%だった。

2026年10月1日の供給実績

北陸エリア

再エネ
29.1GWh
（発電電力量ベース35.9%）

北陸エリア 2026年10月1日の供給実績（残余需要方式）



出典: 北陸電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
80.9GWh

需要ピーク
14:00、338万kW

連系線・その他
11.9GWhの送電

揚水・蓄電の充電
0.0GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

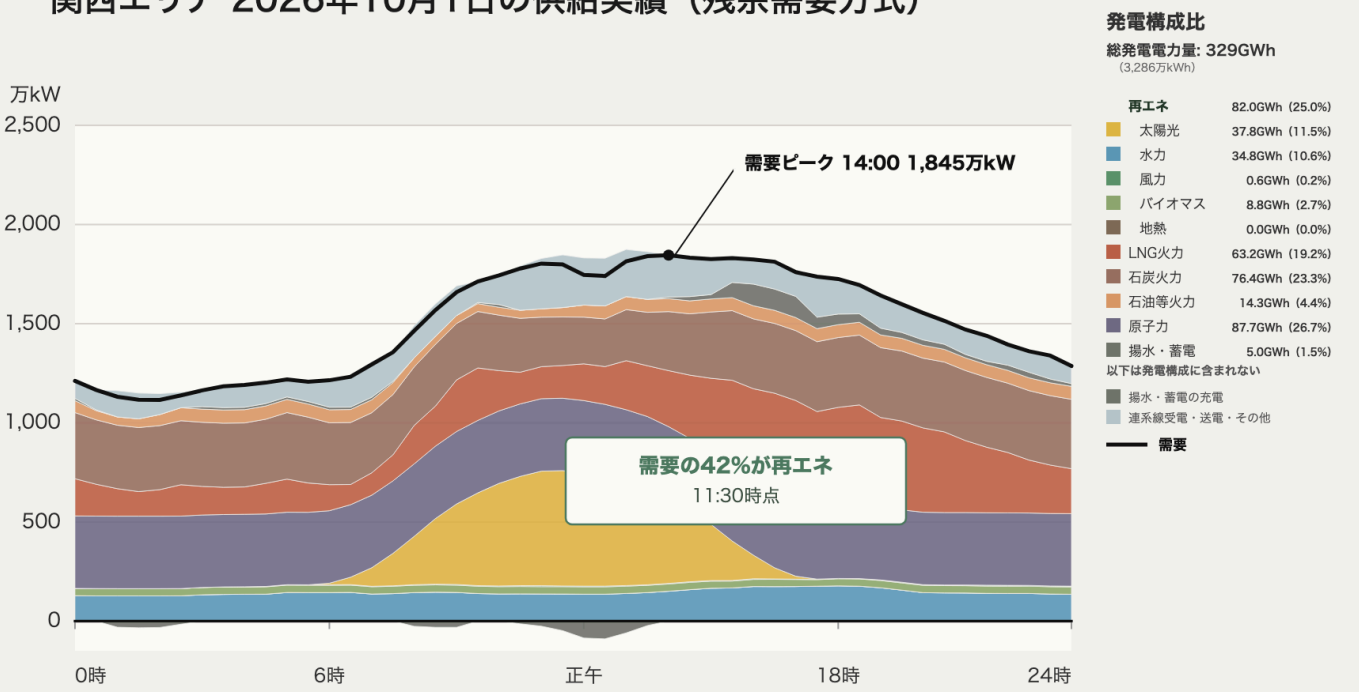
北陸は、太陽光ピーク93万kW、風力ピーク3万kWで、時間別の再エネ最大需要比は53.0%だった。

2026年10月1日の供給実績

関西エリア

再エネ
82.0GWh
（発電電力量ベース25.0%）

関西エリア 2026年10月1日の供給実績（残余需要方式）



出典: 関西電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
328.6GWh

需要ピーク
14:00、1,845万kW

連系線・その他
35.6GWhの受電

揚水・蓄電の充電
2.7GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

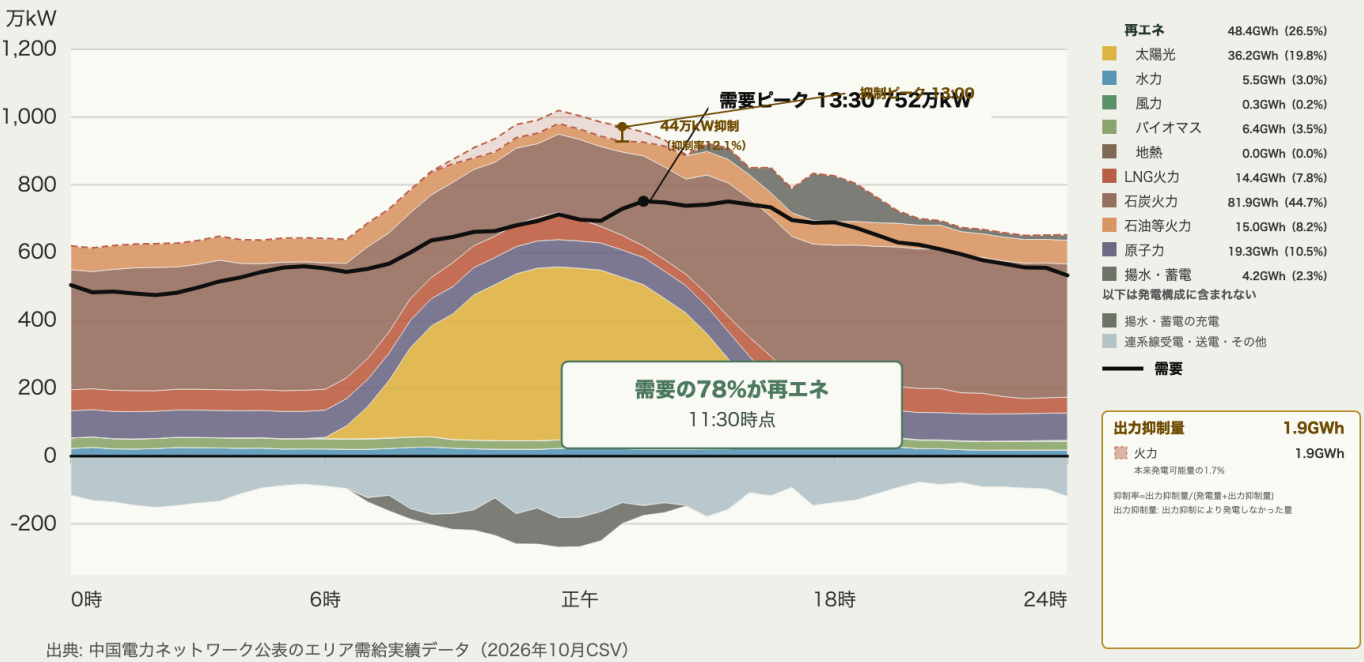
関西は、太陽光ピーク582万kW、風力ピーク5万kWで、時間別の再エネ最大需要比は42.8%だった。

2026年10月1日の供給実績

中国エリア

再エネ
48.4GWh
（発電電力量ベース26.5%）

中国エリア 2026年10月1日の供給実績（残余需要方式）



出典: 中国電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
183.0GWh

需要ピーク
13:30、752万kW

連系線・その他
30.4GWhの送電

揚水・蓄電の充電
4.6GWh

出力抑制
1.9GWh

概況

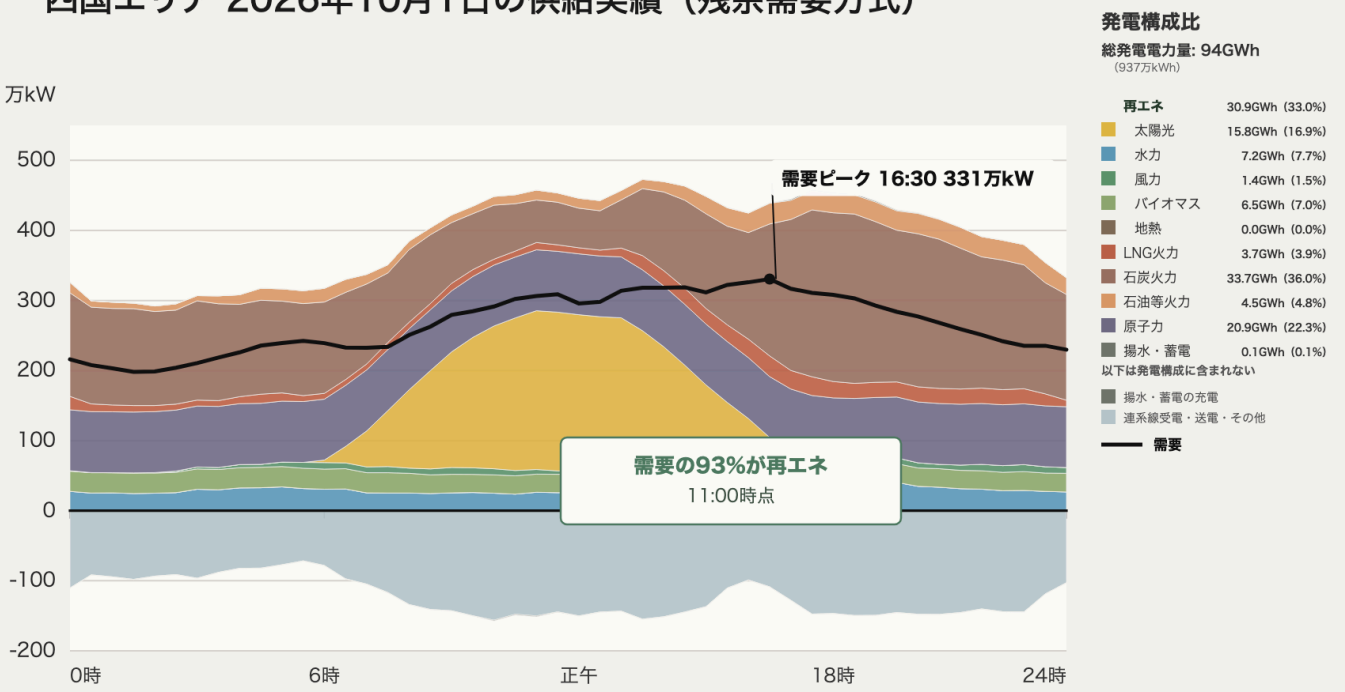
中国は、太陽光ピーク510万kW、風力ピーク4万kWで、時間別の再エネ最大需要比は80.0%だった。

2026年10月1日の供給実績

四国エリア

再エネ
30.9GWh
（発電電力量ベース33.0%）

四国エリア 2026年10月1日の供給実績（残余需要方式）



出典: 四国電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
93.7GWh

需要ピーク
16:30、331万kW

連系線・その他
29.7GWhの送電

揚水・蓄電の充電
0.0GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

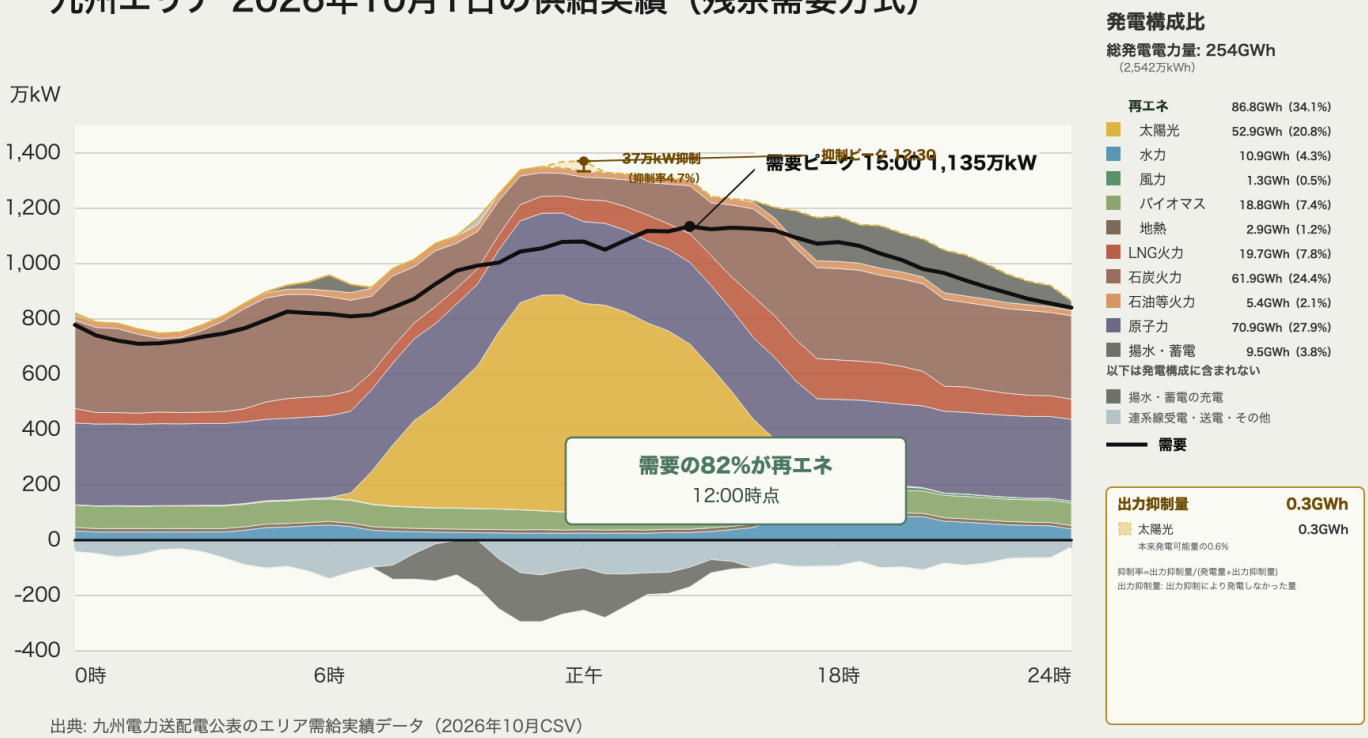
四国は、太陽光ピーク227万kW、風力ピーク10万kWで、時間別の再エネ最大需要比は94.6%だった。

2026年10月1日の供給実績

九州エリア

再エネ
86.8GWh
（発電電力量ベース34.1%）

九州エリア 2026年10月1日の供給実績（残余需要方式）



出典: 九州電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
254.2GWh

需要ピーク
15:00、1,135万kW

連系線・その他
19.2GWhの送電

揚水・蓄電の充電
9.9GWh

出力抑制
0.3GWh

概況

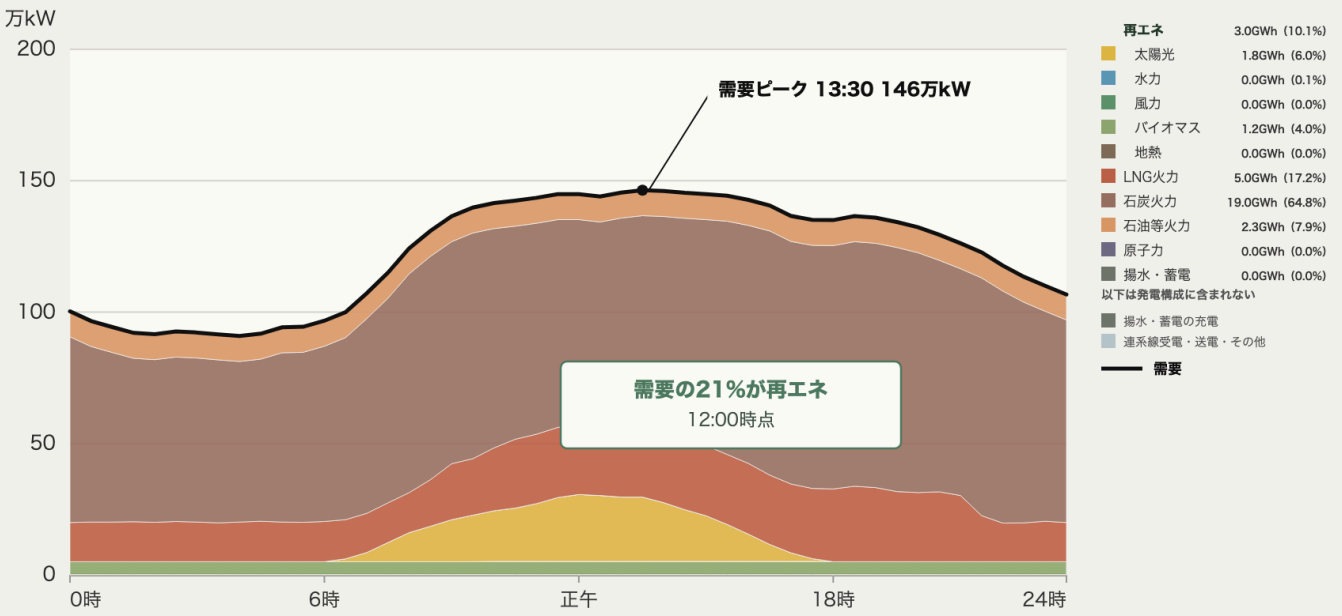
九州は、太陽光ピーク785万kW、風力ピーク21万kWで、時間別の再エネ最大需要比は84.0%だった。

2026年10月1日の供給実績

沖縄エリア

再エネ
3.0GWh
（発電電力量ベース10.1%）

沖縄エリア 2026年10月1日の供給実績（残余需要方式）



出典: 沖縄電力公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
29.3GWh

需要ピーク
13:30、146万kW

連系線・その他
0.0GWh

揚水・蓄電の充電
0.0GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

沖縄は、太陽光ピーク26万kW、風力ピーク0万kWで、時間別の再エネ最大需要比は21.1%だった。